

メモリーカフェー ーもの忘れや認知症について交流しませんか?ー

8/24、9/28、10/26、11/16、12/21、1/25、2/22、3/22開催※

三井記念病院認知症疾患医療センターでは、もの忘れや認知症について参加者同士の交流、専門家から情報提供する場として原則毎月第4金曜日にメモリーカフェーを開催しています。

認知症の有無に関わらず、ご家族の方、関心のある方、ちょっと気になる方、どなたでも無料でご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください!

日時

原則毎月第4金曜日 15:00~16:30
※開催日は変更になる可能性があります。詳しくはホームページをご覧ください。

場所

三井記念病院 入院棟1階レストラン「クロワッサン」

参加予定の専門職

医師、臨床心理士、精神保健福祉士、看護師、ほか

お問い合わせ

三井記念病院 認知症疾患医療センター TEL: 03-3862-9133

お茶とお菓子をご用意
しています。

がん患者さんやご家族同士が語り合える場「いずみサロン」 7/25、9/5、11/21 開催

がんと向き合い自分らしく生きていくきっかけを、

いずみサロンで一緒に見つけませんか?

がん相談支援センターの相談員が皆さんの交流をサポートいたします。

途中参加・途中退室も自由ですので、お気軽にご参加ください。

「同じがん患者・家族と話をしたい」
「不安な気持ちを吐き出したい」
「仕事と治療の両立は…」 など

日時

2018年7月25日(水)、9月5日(水)、11月21日(水) 14:00~15:30(受付開始13:45~)

場所

三井記念病院 外来棟7階講堂

参加・申し込み

入場無料・事前予約不要です。直接ご来場ください。

お問い合わせ

三井記念病院 がん相談支援センター TEL: 03-3862-9252

市民公開セミナー 10/27 開催

三井記念病院では、地域の皆さまの健康増進や病気予防に

役立てていただけるよう下記の内容でセミナーを開催いたします。

お申込み不要・無料でどなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

テーマ

「認知症の不思議」

講師

精神科部長／認知症疾患医療センター長 中嶋先生

日時

2018年10月27日(土) 13:30~14:30(受付開始13:00~)

会場

三井記念病院 外来棟7階講堂

お問い合わせ

三井記念病院 教育研修部 TEL: 03-3862-9111(代)



社会福祉法人

三井記念病院

〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地 TEL:03-3862-9111(代表)

https://www.mitsuihosp.or.jp/

三井記念
病院通信

Mitsui Memorial Hospital PR Magazine

2018年 7月号

【川崎新院長インタビュー】

新たな方向性と
課題を見つめる

【特集】すすむ医療

突発性難聴

●教えて!とも子さん

面会時間について

●転ばぬ先の筋トレ

誤嚥を防いで嚥下力維持!

●三井記念病院の登録医紹介

金沢耳鼻咽喉科医院

新たな方向性と課題を見つめる

この度、2009年から9年間三井記念病院の院長を勤められた

高本眞一医師が退任され、新しく川崎誠治医師が院長に就任しました。

川崎院長は、信州大学医学部第一外科の教授や順天堂大学医学部肝胆膵外科の教授を勤め、

常に臨床の第一線で経験を積んできました。

高齢化に伴い医療の需要が高まるなか、どのようなビジョンを描いているのか、

視線の先にある「新しい三井記念病院」の姿をインタビューしました。

川崎 誠治 院長

生年月日 1952年8月6日

【経歴】

1977(昭和52)年 3月	東京大学医学部 卒業
1977(昭和52)年 6月	東京大学医学部附属病院第二外科系研修医
1978(昭和53)年 9月	国立国府台病院外科医員
1981(昭和56)年 4月	東京大学医学部附属病院第二外科医員
1984(昭和59)年 4月	癌研究会附属病院外科医員
1985(昭和60)年 4月	東京大学医学部附属病院第二外科助手
1987(昭和62)年 7月	米国Emory大学肝臓外科Clinical Fellow
1989(平成 元)年 9月	東京大学医学部外科学第二講座助手
1991(平成 3)年 1月	信州大学医学部第一外科助教授
1995(平成 7)年 4月	信州大学医学部第一外科教授
2002(平成14)年10月	順天堂大学医学部第二外科 (現 肝胆膵外科) 教授
2018(平成30)年 4月	三井記念病院 顧問
2018(平成30)年 6月	三井記念病院 院長

患者さんを連続してみる

—川崎院長が医師としてモットーにしていることを教えてください。

私は消化器外科のなかでも肝胆膵領域(肝臓・胆のう・胆管・膵臓)を専門としてきました。合併症の起こりやすい複雑な手術が多い領域と言われていて、できるだけ安全に手術を行う必要があります。手術そのものだけでなく、手術前の評価や手術後の小さな異常を見逃さないなど、患者さんが退院し日常生活に戻られるまで細かく経過を追うことが大切だと感じてきました。こういった経験から、患者さんの経過を連続的にみて、常に気にかけて続けることが大切だと考えています。

伝統と高い専門性をもつ

現在の三井記念病院

—現在の三井記念病院の特徴はどのような点だとお考えですか？

医師として外からみたり聞いたりしてきた印象では、様々な診療科が協力し合うチーム医療を牽引する病院、若い医師にとつての優れた研修病院、患者さんと直接向き合うことに注力する臨床のブランド病院と認識していました。現在も伝統ある臨床のブランド病院として、患者さんと向き合い治療することで地域の医療を支えていることは間違いありませんが、強いブランドイメージがあるからこそこの課題も感じています。たとえば、医療の専門性が高いがゆえに特定の疾患が集まりやすい、ただ一方でいわゆるcommon disease(よくある疾患)の重症例の受け入れ、対応が充分であったか、という疑問もあるわけです。こういった患者さんもこれまで以上に積極的に受け入れ治療していく姿勢が重要になると考えています。

“臨床の三井”を再び

—今後の取組みについて教えてください

具体的な取組みはこれから医療スタッフ、事務職員と議論しながら進めていく予定ですが、三井記念病院のもつ伝統やブランドを活かしながらも、まずは院長として現在ある三井記念病院の課題と今後の進むべき方向を示さなければならないと考えています。

現在、国の医療費抑制政策、先進医療に伴う医療機器の高

額化など、病院経営に関する環境は年々厳しさを増しています。そのような経営環境の中でも、目指すべきはやはり「良い診療をする」、これに尽きるのではないのでしょうか。そのために私がすべきことは、三井記念病院に良い医師が集まり、その医師達が思う存分活躍できる場の提供をしていくことにほかありません。知識と高い技術をもった医師達が伸び伸びと実力を発揮すれば、より多くの患者さんに良い医療を提供できるようになるはずです。そうなれば結果として、“臨床の三井”が更に成長できると考えています。

当院は1906年に設立され、この千代田区神田和泉町の地で100年以上の歴史を積み重ねてきた伝統ある病院です。今後も伝統的な良い部分は残し、見直すべきところは見直して、病院経営の安定性を高めつつ質の高い医療サービスの提供を行い、皆さんが安心してご利用し続けていただける病院を目指してまいります。

地域の医師との連携をよりスムーズに

—患者さんや地域の方々へメッセージをお願いします。

高齢化の進展とともに増大する医療費を抑制するため、医療を効率的に提供する観点から医療機関の役割分担・機能連携が求められています。その中で当院は、急性期医療^{*}を担う病院として、地域の医療機関から紹介された患者さんに対して精密な検査や高度な医療を提供し、治療後は速やかにご紹介頂いた医療機関に逆紹介することで効率的な地域医療の構築に寄与したいと考えています。

そのためには、地域の第一線を担う「かかりつけ医」や回復期・慢性期の医療機関と相互補完的に協力し合うことが不可欠となりますが、現状では、まだまだ連携が十分とは言えません。地域の医療機関が望む医療と、三井記念病院が果たしている、あるいは果たしていると思い込んでいる医療とのあいだには少なからずギャップがあるはずです。今後は、地域の医療機関とより緊密なコミュニケーションを図り、「地域のニーズをきちんと満たしているのか」「期待に応えられているか」を常にチェックしてまいります。

歩みを止めることなく努力を続け、安全で高度な医療を展開してまいりますので、今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

※急性期医療とは「病気の進行を止める」「病気の回復が見込める目処をつける」までの期間、提供する医療を言います。一般に医療は、急性期医療、回復期医療、慢性期医療と区分されています。



救える命がそこにある。

新しい医療技術、新しい薬。

日進月歩で進んでいく医療。

医療技術の進歩に伴い、医療の現場はどのように変化しているのか。

新しい技術とは一体どのようなものなのか。

三井記念病院通信では、こうした実情を医療の最前線で活躍する専門医がひも解いていく「特集 すすむ医療」を企画しました。

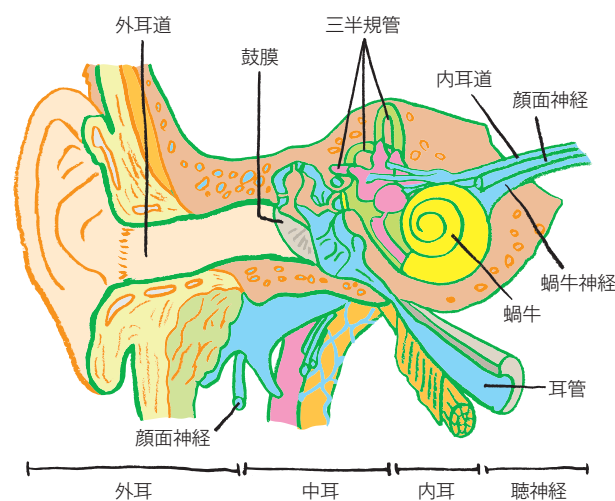
病気についての正しい知識を身につけ、早期発見・早期治療に取り組んでいきましょう。

突発性難聴

片方の耳が聞こえない・耳鳴りがする・音がこもって聞こえるといった症状がある日突然起こる病気、突発性難聴。早期の治療が望ましいと言われていたものの、その原因は未だ特定できておらず、完治に至る決定的な治療法も見つかっていないのが現状です。

一般的には30～50代に多く見られる病気ですが、最近では10代や20代の若年層も増加傾向にあり、テレビや雑誌などのメディアで芸能人が突発性難聴を発症したという報道を目にしたことがある人も多いのではないのでしょうか。難病に指定されており、原因発見と治療法の早期確立が期待される疾患です。

● 耳の模式図



Interview 西村 信一 医師

耳鼻咽喉科 部長

1996(平成8)年3月 東京大学医学部医学科卒業
1996(平成8)年5月 東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科
1998(平成10)年6月 都立府中病院耳鼻咽喉科
1999(平成11)年6月 亀田総合病院耳鼻咽喉科
2001(平成13)年4月 理化学研究所 脳科学総合研究センター
2004(平成16)年4月 NTT東日本関東病院耳鼻咽喉科
2007(平成19)年9月 亀田総合病院耳鼻咽喉科 部長
2012(平成24)年4月 三楽病院耳鼻咽喉科 部長
2018(平成30)年4月 三井記念病院耳鼻咽喉科 部長 現在に至る

突然片耳が聞こえづらくなり、 短期間で症状はピークに

—突発性難聴とはどのような病気ですか？

内耳の蝸牛に障害が起こり、突然難聴が生じる疾患です。症状がピークに達するのは概ね72時間以内とされています。時間をかけて徐々に聞こえなくなっていくというイメージではなく、朝起きたら急に症状が出ていたり、ある瞬間に突然聞こえづらくなったりするケースが多いです。

原因についてはさまざまな説がありますが、はっきりとした原因はわかっていません。強い圧力などの外傷によって引き起こされる「外リンパ瘻」などは突発性難聴と似ていますが別の病気とされます。

—原因不明とのことですが、先生は原因についてどのようにお考えですか？

ウイルス感染、もしくは血管の詰まりが原因ではないかと考えていますが、いずれも確証はありません。たとえば脳の血管が詰まっているかどうかはMRI検査などで診断できますが、内耳は微細かつ複雑な器官のため、検査ではっきりとした原因がわかるケースが少ないのが現状です。

—どのような症状が現れますか？

片耳の音が聞こえなくなったと感じる人もいますし、キーンという耳鳴りのせいで聞こえにくくなったように感じる人もいます。しかし後者の場合、本人は「耳鳴りのせい」だと考えていますが、聴力検査をすると、神経が弱っていることがわかる場合もあります。

また、突発性難聴に似た症状が現れる疾患のひとつに低音障害型感音難聴があります。「ある日突然」発症する突発性難聴に対して、低音障害型感音難聴はゆっくり悪くなったり、良くなったりするのが特徴です。症状が似ているので初期段階では見分けがつきにくいですが、病気の種類自体が違うのではないかと考えられています。

—症状に早く気づくためにはどうしたらよいですか？

音の聞こえ方に違和感を覚えたら、両耳にイヤホンを当てて音楽を聞き、両耳でちゃんと聞こえているか、あるいは、片耳しか聞こえないかを確認してみてください。実際、その方法で症状に気

がついた方が多くいらっしゃいます。携帯電話を右耳、左耳に交互に当ててみるのも同様の原理です。突発性難聴は左右の耳で症状に違いが出るのが特徴なので、まずは左右の耳で比べてみるのが早期発見の鍵かもしれません。治療は早ければ早いに越したことはありませんが、10日以内の治療が望ましいでしょう。

1日でも早い治療を

—なぜ早期治療が重要なのでしょうか？

先ほど血管の詰まりが原因のひとつに考えられると説明しましたが、血管が詰まるということはすなわち、細胞が酸素不足になることを意味します。細胞が死んでいなければ回復の余地がある一方、細胞が完全に死んでしまうと血流が正常化しても回復できないので、細胞が生きている可能性の高い10日以内に治療を開始することが重要になります。もちろん、原因が特定できていない以上、これも仮説ということになってはしまいが、いずれにしても、「治療開始は1日でも早いほうがいい」と覚えておいてもらえたらと思います。

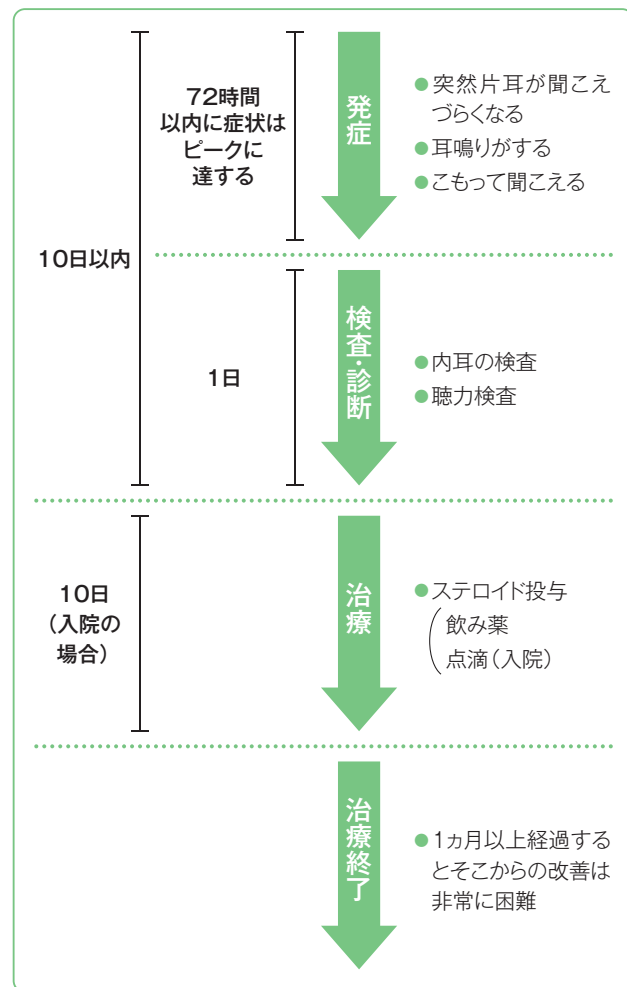
—検査方法を教えてください。

一般的な聴力検査のほか、内耳の機能検査を行う方法もあります。検査時間は数十分程度で、その日のうちにある程度の診断結果が出せます。ただし、脳腫瘍の中の聴神経腫瘍という病気でも片耳の聴力が低下する場合があるため、MRI検査を行うケースも珍しくはありません。MRIをはじめ最新の検査設備を使うことで、病名の早期特定が可能です。

—治療法について教えてください。

炎症を抑える作用のあるステロイドを飲み薬または点滴で入れるのが現在の主流です。飲み薬の服用であれば自宅もしくは通院で行えるため手間が少ないですが、点滴のほうが薬の濃度を高められるため、より高い治療効果が期待できます。点滴の場合は10日程度の入院が必要になるケースが多いです。通院で点滴を行うこともあります。ステロイドは急に止めると調子が悪くなることがあるため、「土日は通院による点滴ができない」といった場合には円滑な治療が行えません。よって当院では、入院していただき、症状の変化とともに点滴を調整することで患者さんへの負担を最小限に抑えるように努めています。

●発症から治療までの流れ



治療終了後、症状は横ばいに

—聴力は回復しますか？ また、再発の可能性はありますか？

基本的に悪化しにくいのが突発性難聴の特徴で、発症から概ね72時間で症状が固定し、以降は症状がほとんど変わりません。したがって、治療途中からさらに悪化する場合は別の疾患の可能性が疑われます。回復も悪化もせず、症状が横ばいというケースは多々あり、治療しても残念ながら聞こえづらさが残ってしまう方もいらっしゃいます。

再発の可能性は低いとされています。再発を心配する方が多くいらっしゃいますが、丁寧に説明し安心していただいています。

—予防方法はありますか？

ストレスが影響するという説もありますので、強い緊張を強いられる仕事は注意が必要です。たとえば失敗が許されなかったり、

締め切りに追われたりするような仕事です。精神的圧迫や不眠が影響するとも言われていますが、もちろん、これにまったく当てはまらない方でも発症の可能性はあります。

予防法としては、血管の詰まりを防ぐという意味で、水分を多めに摂ることが有効になると考えられています。水分バランスの乱れがストレスの原因になっている可能性もありますから、そういう意味でも、水分は意識して摂るとよいでしょう。

他の診療科、地域のクリニックと連携し、より安全で迅速な治療を提供する

—突発性難聴の治療法は今後どのように進化していくとお考えですか？

これまでさまざまな治療法が試されてきましたが、今のところ、ステロイドが最も有効であると考えられています。したがって、これからもステロイドが治療の中心になると思います。

なお、ステロイドは炎症を抑える薬で、内耳の細胞に作用します。余計な炎症が起こると弱った細胞がさらに酸素を使ってしまう可能性があるため、それを抑えて細胞が生きられるようにします。ただしステロイドはその副作用として、血圧や血糖値が短期的に上がってしまうことがあるため、糖尿病の方には、糖尿病の担当医と連携し、血糖値の調節をお願いしながら治療をしていきます。

—三井記念病院での治療の特徴を教えてください。

当院では画像検査や内耳の機能検査など、高度な検査を行える施設が整っており、より確実な診断を目指しています。突発性難聴とよく似た病気で「外リンパ瘻」という内耳の液体が漏れる病気がありますが、これは手術を行うこともある病気で迅速な診断が求められます。こうした診断の上で治療を行っています。当院は高度な治療を必要とされる患者さんに治療を行う急性期病院のため、受診には紹介状のご用意をお願いしていますが、緊急性の高い突発性難聴の場合には、地域連携室を通して、近隣の病院、クリニックと連携を図っているので、その日のうちに診断することも可能です。

突発性難聴とその患者さんたちにしっかりと向き合い、適切かつ迅速な処置によって、患者さんの「不安」を「安心」に変えていきたいと考えています。



「面会時間について」

三井記念病院では入院患者さんの「安静・療養」「安全確保と防犯対策」のため、面会時間をお守りいただくようお願いしております。面会時間の注意点をもう一度確認してみましょう。

面会時間外だけれど…

Aさん「入院してるおじいちゃんの具合はどうかね」



お昼休みに病院の入院棟を訪れたAさん

Aさん「面会時間じゃないけれどすぐに済むからいいよね!」



STOP 時間外の面会は、原則ご遠慮いただいております。



「患者さんが安心して療養できるよう、緊急のご用件以外は面会時間を守りましょう。」

●事前に面会時間を確認しましょう。

面会時間のご案内

一般病棟【7階(循環器病棟)・9階～18階・特別室(19階)】	
月曜日～土曜日・祝日稼働日	午後3:00～午後8:00
日・祝祭日	午前10:00～午前12:00、午後3:00～午後8:00
ICU(5階)・CICU(7階)・HCU(8階)	
毎日	午前7:30～午前8:30、午後3:00～午後8:00

面会時間より早めに来た方は、入院棟1階ラウンジにてお待ちいただくようお願いしております。面会時間のご案内は当院ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

●緊急の場合は面会受付へお声掛けください。

面会時間に関わらず緊急の場合は入院棟1階の面会受付にてご用件をお伺いしております。

例)・医師から連絡があった場合

- ・手術のご予定
- ・お産の立ち会いなど

次回の「教えて!とも子さん」は「こころ温まったエピソード～外来での出来事～」です。お楽しみに!



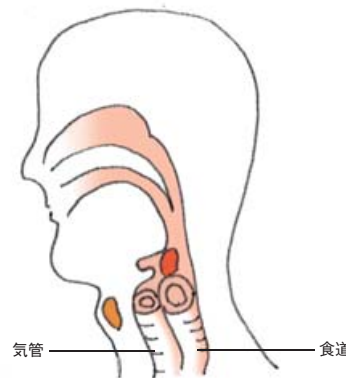
食べ物飲み込む嚥下力を鍛えよう！番外編 誤嚥を防いで嚥下力維持！

自宅で介助するときに心配なのが、食べ物が気管に入ってしまう誤嚥。
誤嚥を防ぎ、安全な食事を続けることは、嚥下力維持につながります。

誤嚥のメカニズム

喉に溜まってしまう食べ物に注意！

嚥下力の低い方は食べ物を飲み込んだあと、喉に食べ物が溜まってしまい、その食べ物が気管にこぼれることで誤嚥が起きてしまう危険があります。しかし、誤嚥を必要以上に恐れて何も食べないでいると、ますます嚥下力は落ちてしまいます。誤嚥のリスクを減らすポイントを抑え、安全に食事を続けることで、嚥下力の維持につながります。



誤嚥を防ぐ食べ方のポイント

ポイント1 背を倒し、顎を引いた姿勢を保ちましょう

食道は気管の後ろ側にあるので、背を後ろに少し倒すことで、食べ物が食道に入りやすくなります。また、あごを上げると喉の動きが悪くなるので頭の下に枕やタオルを入れてあごを少し引くとさらに効果的です。

ポイント2 ひと口量を調節しましょう

ひと口量が多すぎると喉に溜まってしまう量も増えてしまいます。ですから、ひと口量は控え目にした方が安全です。ティースプーンなど身近なものを使い、少量ずつから安全に飲み込める量を確認しましょう。

ポイント3 ツルンとしたものやとろみがあるものが◎

ゼリー等のツルンとしたものやペーストのように軟らかくまとまりのよいものが安全です。反対に、バサバサしたものはのどで散らばり、気管にこぼれやすいので避けましょう。水分は流れ込むのが早いので、気管にも流れ込んでしまう危険が高まります。ですから、液体にはトロミをつけると安全です。



Interview
リハビリテーション部
三谷 尚子

三井記念病院の 登録医紹介

三井記念病院では、地域医療機関との相互連携を一層密にし、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。このコーナーでは、三井記念病院の登録医としてご協力いただいている先生方を紹介していきます。

金沢耳鼻咽喉科医院

三井記念病院から徒歩3分の距離にある金沢耳鼻咽喉科医院。風邪や花粉症といった身近な疾患の治療から、めまいや耳鳴り、頭痛、そしてダイバーの方が多い耳抜きトラブルにも対応し、患者さんに親身になった医療を続けられています。



Interview
金沢 致吉 医師



- 院 長：金沢 致吉(かなざわ ちぎり)
- 住 所：東京都千代田区神田佐久間町2-18-5
アークビル3階
- T E L：03-3866-8787
- 診療内容：耳鼻咽喉科
- 診療時間：月・火・水・金・土
9:00～12:00、14:00～18:00
- 休 診 日：木曜・土曜午後・日曜・祝日

— 医師を目指されたきっかけは？

小学3年生のころに肋膜炎(胸膜炎)という肺に胸水がたまる病気にかかり、とてもつらい思いをしました。入院し治療を受けたことで幸いにも完治しましたが、その時、命を助けてもらった感動とともに「医師の力はすごい」という思いが心に刻まれました。この経験が私を医師の道に導いたと思っています。

— 先生の専門分野を教えてください。

1960年代に放送されていた「ペン・ケーシー」という脳神経外科医が主人公のアメリカドラマに影響を受けたこともあり、初めは脳神経外科を専攻しました。脳神経外科医をしていると、「めまい」の症状で受診される方が多く、興味を覚えるようになってきました。めまいは本来耳鼻咽喉科の領域であるため、耳鼻咽喉科で勉強する機会を得て、そこから耳鼻咽喉科医として経験を積んでいます。

— 診療で意識されていることはありますか。

患者さんに余計な費用負担をしてほしくないと思っているため、お薬の種類や量に関しては、効果が見込めると思う最小限のお薬に絞るようにしています。患者さんの症状を正確に判断し、また薬の効果を説明し、「とりあえずこのお薬も飲んでみましょう」ということをなるべく無くすようにしています。また、患者さんが納得する治療が最も大切だと思っているため、当院では、病名や検査結果、治療後の数値、治療方法をまとめた「指導箋」を患者さんにお渡ししています。治療の効果が視覚化されることで理解もしやすい



患者さんに配布している指導箋

ですし、今後同ような症状が出た際も、その指導箋があれば、どこの医療機関でも以前の症状を知ることができ、治療の効率化にもつながります。

— 地域医療連携についてはどのようにお考えですか？

診療所と病院は互いに補完しあえる関係が理想的です。私は開業医として自分の治療の限界を知っているため、「当院ではこれ以上治療は難しい」と感じたり、当院ではできない手術や検査の必要性を判断したら、すぐに病院へ紹介します。“抱え込まない”ことが患者さんのためでもあります。私たち開業医はプライマリーケアの役割を全うし、地域医療のサイクルを円滑に回していきたいです。

当院と三井記念病院は徒歩3分ほどの距離ですが、この近さのメリットを十分に活かし、医師同士が融通を利かせあい、患者さんにとって一番良い、病院と診療所の関係ができています。

News

三井記念病院で開催した行事やイベントをご紹介します

2018.
05

- 2018年5月2日(水)
「第34回公開臨床病理検討会(CPC)」開催
- 2018年5月16日(水)
いずみサロン 開催
- 2018年5月19日(土)
ボランティアミニ・コンサート 開催
社会保険労務士に相談しよう!
お仕事に関する個別相談会 開催
- 2018年5月26日(土)
市民公開セミナー「からだにやさしいがん治療
～手術支援ロボット『ダヴィンチ』による
前立腺がん・腎がん手術～」開催

2018.
06

- 2018年6月6日(水)
院長退任講演「医の原点
～三井記念病院創立当時から
今日までの取り組み～」開催
- 2018年6月20日(水)
地域連携フォーラム「高齢者糖尿病の管理
～どうしても注射療法が必要な場合の
対応法など～」開催
- 2018年6月23日(土)
ボランティアミニ・コンサート 開催
さんとも会(前立腺がん患者会) 開催

2018.
07

- 2018年7月4日(水)
「第35回公開臨床病理検討会(CPC)」開催
- 2018年7月7日(土)
腎臓病教室「腎臓病の薬物療法①
～血圧の管理～」開催
- 2018年7月18日(水)
地域連携フォーラム「リウマチだけではなく!
患者を悩ます様々な関節炎
～我々はどのように対処しているのか?」開催
- 2018年7月21日(土)
社会保険労務士に相談しよう!
お仕事に関する個別相談会 開催
ボランティアミニ・コンサート 開催
- 2018年7月25日(水)
いずみサロン 開催

Pick Up!

2018年6月6日(水)

○ 院長退任講演「医の原点～三井記念病院 創立当時から今日までの取り組み～」開催

2018年6月20日をもって当院院長を退任された高本眞一医師の退任講演を外来棟7階講堂にて行いました。当日は患者さんをはじめ、医療関係者や当院スタッフ、総勢300名を超える来場がありました。

高本医師は院長として就任した2009年からこれまでの9年間を振り返るとともに、関係者の皆さま、出会った患者の皆さまへの感謝を述べられました。多くの皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございました。



2018年6月23日(土)

○ ボランティアミニ・コンサート 開催

6月23日(土)のボランティアミニ・コンサートは高田馬場新堀ギター音楽院に通う生徒の方と講師の皆さんによるギターアンサンブルコンサートでした。演奏してくださった高田馬場新堀ギター音楽院の皆さんは4年ぶり2回目のボランティアミニ・コンサートでした。

当日は約50名の患者さんや当院スタッフが来場し、様々な種類のギターが奏でるリズムカルな演奏を楽しみました。最後はギター演奏に合わせて「故郷」を歌い、会場が一つになったコンサートとなりました。



智 情 意

[chi・jyou・i]

高校生の頃、手塚治虫のブラックジャックという漫画を読みながら、ひとがやれないような手術をやるのもいい感じと思ったことがありましたが、医学部を受験したのは、どちらかというと難関に挑戦したいという気持ちからであり、今振り返ると医者になってよかった、と後付けで思うのであり、まあ結果論みたいな感じがします。医者の資格をもちながら他の職業をやっている人も世の中にはおり、たとえば東大医学部を出て血液内科をやっていたのに、いつのまにか文芸評論から社会に対する論評まで幅広い著作活動を行っていた加藤周一(著作集はいまだに本棚に健在)のごとく、医学部に行っても職業選択肢はあるのだと思います。柔道、ボート、野球などで体力や勝負勘をつちかい、どちらかというと器用なほうでもあったので、外科系を最後は選ぼうと思いました。多くの整形外科志望の若者が最初に思うように、スポーツ好きという理由で整形外科に行きました。試合に帯同というとカッコいい感じもしたので機会があれば出かけていました。レスリング世界選手権でドーピングに携わったこともありましたが、しかしながら、どうも日本のスポーツ医学というのは、正直、ぱっとしない感じで、選手からはトレーナーと勘違いされているような感じですぐやめにしました。脊椎とか神経とかにやりがいがありそうで、当時は今よりも成績も悪く、この道はもっといろいろやることもありそうだと思い、脊椎外科医としての道を歩み始めました。技術取得にも長い時間を

要しそうで、逆に当分飽きずに仕事に打ち込める分野であらう、と思ったりしました。病院勤務と大学の教官という二つの立場で働き、気が付いたらもう「エライベテラン」みたいな感じになっています。先日の理事会でずいぶん久しぶりに肝移植の幕内先生とお顔を合わせたところ、髪の毛のことを真っ先に指摘されましたが、「アナタモデショ」と言いそうになり、まあ歳をとったということです。

勝ち目がなさそうだから無理しない、とか、そんな症例に手術して大丈夫か、とか言って干渉してくる上司のことが嫌でたまりませんでした。リスクがあってもやらないのもうその人の人生が終わってしまうというときに、他に引き受け手もない場合に、私はあえて「自分の持っているものを全て出し尽くしてやれることをやる」という超攻撃的姿勢です。聞こえは格好よいのですが、思い上がりもいいところかもしれないのは自覚しています。良い結果を出せず申し訳ない気持ちで一杯になってしまうこともあります。自分一人ではもちろん通せないやり方であり、三井記念病院は、素晴らしい麻酔医や内科医のバックアップ、手術センターの受入体制、川崎洋介科長の成長や若手の術後管理、全員の団結により、何とか老骨に鞭をうちながら、ハイリスク患者とともに生きる、をやっています。ホント、馬鹿ダナ俺ハ、と時々思っけれど。



副院長、整形外科部長

星地亜都司

皆さまから貴重なご寄付をいただきました

▶個人

松崎 奈弓 様
大山 まり子 様
児玉 順子 様

羅 基祖 様
関 正純 様
南條 政三 様

高本 久・久子 様
柚須 悠久 様
相山 好久 様

下田 進 様
岩尾 秀之 様
森 潔 様

▶法人

有限会社東旺
株式会社キングジム

▶匿名希望

9名

(順不同)

※当法人への寄付は、社会福祉事業のための寄付金として税制上の優遇措置が適用されます。詳しくは当院経理課までご相談ください。

2018年4月～6月